

延べ参加者3,000人突破！ マンション管理実践講座

マンション管理実践講座の累計参加者数が、3,000名を超えました。2005年の開講から、管理組合の皆さんによるマンション管理に必要な知識や情報を、集合住宅維持管理機構（以下、機構）の技術者やNPO法人マンション管理支援の関住協の世話人が、自身の経験もいかしながら発信し続けて丸15年。2019年度の講座終了時点で、開催回数123回、延べ参加者数3,124名を数えます。年度末になると来年度のスケジュールはいつ発表されるのかと問い合わせる方、遠方にも関わらず何度も足を運んでくださる方、わかりやすかったよと褒めてくださる方、厳しくご指摘くださる方、そんな方々に支えられ、いただくさまざまなメッセージをモチベーションにして、回を重ねてきました。

マンション管理実践講座は、大阪市、神戸市、公益財団法人マンション管理センター、一般社団法人日本マンション学会の後援を受け、年に8～9回、概ね最終土曜日に、事務局のある大阪市中央区のアイカビルの会議室をお借りして開催しています。なお、その年度のうち1回は、神戸市すまいとまちの安心支援センターにご協賛いただき、神戸市内の会場で開催しています。この場をお借りして、改めて、ご講演・ご協賛いただいている諸団体、そして快く会場を使用させていただきさるアイカ工業株式会社大阪支店に厚くお礼申し上げます。

2019年度は、給排水設備改修を取り上げた回（第122回）や管理会社との付き合い方をテーマにした回（第121回）が特に参加者の満足度が高いというアンケート結果が得られました。定番の大規模改修工事や長期修繕計画に関する回（第117、118回）や、電気設備に関する回も好評でした。

さて2020年度は、「自然災害への備え」に重きを置いたテーマ設定になっています。ソフト、ハード両面の備えについて、事例を示しながらマンション居住者に必要な知識と情報を提供します。また、一昨年、初登場いただいて以降、二度目のご登壇となる天神法律事務所丸橋弁護士には滞納対策についてお話ししていただく予定です。今年度の一回目は、昨秋新長田に事務所を移転されたすまいるネットのセミナールームをお借りしておこなう初めての講座になります。通常の大坂会場での講座は5月からスタートします。

今年度も新しい気持ちで皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



マンション管理実践講座 年間予定

No.124

4/25 「住み続けるための改修と自然災害の被害から考える改修」 小薄和男（機構主任専門委員/一級建築士）
※神戸会場（神戸市すまいとまちの安心支援センター
‘すまいるネット’ セミナールーム）

No.125

5/30 「実際に学ぶ「コンサルタント」の選び方」
細井健至（機構主任専門委員/一級建築士）

No.126

6/27 「管理費等の滞納対策」
丸橋 茂（天神法律事務所 弁護士）

No.127

7/18 「住み続けるための改修と自然災害の被害から考える改修」 小薄和男（機構主任専門委員/一級建築士）
※大阪会場（No.124と同内容）

No.128

8/29 「自然災害への管理組合の備え」
（NPO法人マンション管理支援の関住協 世話人）

No.129

9/26 「いざという時に頼りになる、防災設備、消火設備、避難設備」
上田健一（機構主任専門委員/一級建築士）

No.130

10/31 「ここがポイント！大規模改修工事」
塩田悦司（機構主任専門委員/一級建築士）

No.131

11/28 「これからの長期修繕計画」
中島幸博（機構主任専門委員/一級建築士）

今年も
よろし

